



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

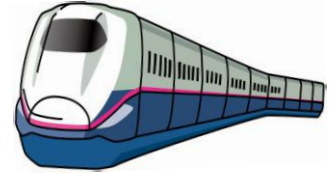
JR東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2019年12月30日 No.159

## 新幹線統括本部に申し入れを行う

### 幹申第1号「2019年度冬期に関する申し入れ」

東日本ユニオンは12月24日、新幹線統括本部に対し、幹申第1号「2019年度冬期に関する申し入れ」を行いました。

新幹線統括本部が発足し、はじめての冬期を迎えています。2019年度冬期を万全な体制で迎えるため、過去の冬期に発生した問題や克服すべき課題を含め、各地方から寄せられた新幹線に関する問題点を12項目の要求にまとめ、申し入れを提出しました。



### 申し入れ項目

1. 新潟新幹線車両センター構内の着発線から庫内までの指定通路の除雪を行うこと。
2. 新潟新幹線運輸区のカッター車要員として、冬期間は運転士1予備（5時00分～12時10分）勤務の社員をおくこと。
3. ガーラ湯沢駅における回送列車発車の際、ホーム上の安全確認を行う対策を講じること。
4. E3系のブレーキライニング凍結防止対策として、山形新幹線車両センター構内の電留1番線、臨修4番線、電留14番線のT車台車下部に融雪マットを設置すること。
5. 山形新幹線車両センター構内の積雪対策として、融雪マットを設置すること。
6. 山形新幹線車両センター構内の指定通路に融雪マットを設置すること。
7. 山形新幹線車両センター構内の電留1番線～臨修4番線、電留9番線～電留14番線の全ての昇降台に温水マット融雪装置を設置すること。
8. 山形新幹線車両センター構内に屋外留置している車両の、降雪時におけるパンタグラフ離線対策としてパンタグラフ位置に屋根を設置すること。
9. 冬期において山形新幹線車両センター構内の『き電停止』は、やむを得ない場合を除き実施しないこと。
10. 山形新幹線車両センターのDC庫を早急に建て替えること。
11. 山形新幹線車両センター構内の融雪7番線の両端に昇降装置を設置すること。
12. 山形新幹線車両センター構内に新幹線車両の予備車を留置する留置線を増設すること。